

音楽と歴史の関係って？おんがく博士がお話と演奏でお答えします！

おんがく博士演奏講座

芸術の都パリ
咲き乱れる文化

お耳をどうぞ

タイムスリップコンサート

第1回
2024
9/15 (日) 14:00開演
13:30開場

ショパンとオペラの意外な関係

出演

澤原行正(テノール)
栗田桃子(ピアノ)



栗田桃子



第2回ゲスト
青柳いづみこ

第2回

2025
2/2 (日) 14:00開演
13:30開場

パリ万博20世紀の幕開け

出演

澤原行正(テノール)
栗田桃子(ピアノ)

ゲスト

青柳いづみこ(ピアノ)



澤原行正

全席指定

第1回 1,500円
第2回 2,000円

(ムーサ友の会会員は各回1割引)

たましんRISURUホール小ホール

東京都立川市錦町3-3-20 立川市市民会館

◆チケット発売日(両回とも)

ムーサ友の会: 5月12日(日) 一般: 5月14日(火)

※発売初日の窓口販売はございません。

※発売初日は、電話予約、オンライン10:00~。

(各初日はお一人様5枚まで購入いただけます)

※未就学児は入場できません。

※本公演は、車椅子使用者と視覚障がい者のためのお席がございます。

たましんRISURUホールまでお問合せください。

◆チケット取り扱い

●たましんRISURUホール

TEL 042-526-1311

(9:00-20:00 第3月曜日休館)

●財団オンラインチケット

※右記QRコードより

アクセスできます。



主催: 栗田桃子ピアノコンサート実行委員会 公益財団法人立川市地域文化振興財団

監修: 友利 修 (国立音楽大学音楽学部教授/音楽学) 沼野雄司 (桐朋学園大学教授/音楽学)

タイムスリップコンサート おんがく博士演奏講座

お耳をどうぞ

おんがく博士がわかりやすく音楽と歴史のつながりを解説・実演する新しい形のコンサート。

19世紀から20世紀、芸術の都と呼ばれたパリにおいて、フランス革命を経た自由主義のもとヨーロッパ中から集まる芸術家たちによって互いに直接的にあるいは間接的に関連し、音楽が発展していった・・・
たった100年のうちに、一つの都市を舞台に今に知られているほとんどのクラシック音楽の名曲が次々に生み出されていく様子を見る。

PROGRAMME

第1回 ショパンとオペラの意外な関係

◆出演

澤原行正(テノール) 栗田桃子(ピアノ)

◆曲目

リスト オペラ《ファヴォリータ》より 優しき魂よ S.400a
ドニゼッティ オペラ《ファヴォリータ》より 優しき魂よ
ロッシーニ 「音楽の夜会」より
ベッリーニ 「3つのアリエッタ」より
ショパン バラード第3番 Op.47
ドニゼッティ 仏語版オペラ《ランメルモールのルチア》より

他

第2回 パリ万博20世紀の幕開け

◆出演

澤原行正(テノール) 栗田桃子(ピアノ)
【ゲスト】青柳いづみこ(ピアノ)

◆曲目

ヴェルディ オペラ《椿姫》より 乾杯の歌
スッチーニ オペラ《トゥーランドット》より 誰も寝てはならぬ
サティ ジュ・トゥ・ヴ *
ドビュッシー 牧神の午後への前奏曲 *
ドビュッシー オペラ《ペリアスとメリザンド》より 第三幕第一場 *
メサジェ バイロイトの思い出 *

他

*…連弾



PROFIL

栗田桃子 (ピアニスト・音楽博士)

国立音楽大学附属高等学校音楽科卒業。同大学演奏学科鍵盤楽器専修ピアノ専攻卒業、鍵盤楽器ソリストコース修了、武岡受賞等。同大学院音楽研究科ピアノ専攻修了、交換留学生としてウィーン国立音楽大学においてマルティン・ヒューズに師事。桐朋学園大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。第25回ジャンルカ・カンボキア国際コンクール(イタリア)カテゴリーE部門最優秀賞、ピアノ部門最優秀賞、テアトロベッリーニで行われた受賞者コンサートに出演。多摩フレッシュ音楽コンサート2021最優秀賞受賞。KOBÉ国際音楽コンクール最優秀賞、兵庫県知事賞受賞。パシフィックスターズ国際ピアノコンクール2023第二位受賞等。堀江優子、高橋陽子、内川裕子、草野明子、安井耕一、マルティン・ヒューズ、三木香代、故小森谷泉、清水和音の各氏に師事。桐朋学園大学音楽学部附属こどものための音楽教室仙川教室ピアノ実技講師。

青柳いづみこ (ピアニスト・文筆家)

安川加壽子、ピエール・バルビゼの両氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業。東京藝術大学大学院博士課程修了。学術博士。平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と文筆を兼ね、著作34点、CD24点。『翼のはえた指』で吉田秀和賞、『青柳瑞穂の生涯』で日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトヘルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ音楽賞受賞。2021～22年には、CD『昔の歌』(ALM)と楽譜『安川加壽子の発表会アルバム』(音楽之友社)を刊行。2023年には、高橋悠治とのアルバム『シューベルトの手紙』(ALM)、『仮面のある風景 F・クーラン作品集』(TKI)、西本夏生とのアルバム『カスリス』(ALM)をリリース。最新刊は『パリの音楽サロン ヘルエポックから狂乱の時代まで』(岩波新書)。日本演奏連盟、日本ショパン協会理事。大阪音楽大学名誉教授、兵庫県養父市芸術監督。https://ondine-i.net

澤原行正 (テノール・音楽博士)

愛媛大学教育学部卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科及び同大学院音楽研究科修士課程修了。桐朋学園大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。《カルメン》ドン・ホセでオペラデビュー。その後《ラ・ボエーム》、《コジ・ファン・トゥッテ》、《ドン・パスクワレ》、《ランメルモールのルチア》、《愛の妙薬》、《椿姫》、《蝶々夫人》、《トスカ》など様々なオペラに出演。コンサートにおいてもバッハ「マニフィカト」、モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、オルフ「カルミナ・スラーナ」などにソリストとして出演。2023年小澤征爾音楽塾《ラ・ボエーム》ロドルフォ役カヴァーキャストを務め、同年セイジオザワ松本フェスティバルへ同役で出演。2024年は同フェスティバル《ジャンニ・スキッキ》リヌッチョ役で出演予定。また、コンサート企画やライナーノートの執筆など活動は多岐にわたる。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。くれ観光大使。